



校章制作者 西潟錦一様

南魚沼市立五十沢小学校 令和8年度 グランドデザイン



トライアングルスマイル
子ども、保護者・地域、
教職員の笑顔の響き合い

教育目標

ふるさとを愛し
命かがやかせ
生きる子

教育目標揮毫者 山岸恒（望雲）様

令和8年度 重点目標 「自分で考え、進んで行動する子ども」の育成

4つの柱で教育活動を推進します

知：自分の考えをもち、伝え合い、深め合う子

- ★ 国語と算数の学習内容を理解している【ワークテスト】A:各学級で80点を上回る子が80%以上
- ★ 「分かったこと・できたことを自分の言葉で振り返ることができた」と回答【児童アンケート】A:全学年が80%以上
- ★ 「友達と関わり合いながら、自分の考えを深めることができたと感じている」と回答【児童アンケート】A:全学年が80%以上

学校が取り組むこと

- 「学びの土台」をつくります。
 - ・基礎基本の定着
 - ・「聞き方・話し方」を含めた学習規律の徹底
- 「分かる・できる」を実感する授業を行います。
 - ・子どもの言葉を生かした、必要感のある追求課題の設定
 - ・友達と関わりながら思考し、解決していく場の設定
 - ・課題解決までの流れを振り返り、自分の言葉や図でまとめる場の設定

子どもたちが取り組むこと

- 文や資料に書かれてあることを正しく読み取り、自分の言葉で表現します。
- 自分の考えをもって、友達と関わり合います。
- 分かったこと・できたことを自分の言葉で振り返ります。
- 「学年×10分」の家庭学習に取り組めます。

徳：自他のよさと違いを認め、よいと思うことを進んでする子

- ★ 「自分にはよいところやがんばっていることがある」と自己評価する。【児童アンケート】A:全児童の80%以上
- ★ 「自分から誰にでも進んであいさつをしている」と自己評価する。【児童アンケート】A:全児童80%以上

学校が取り組むこと

- 子どもたちが関わり合い、協力する活動を行います。
 - ・めあてを決めて取り組み、振り返ったり、互いに頑張りや認め合ったりする活動の充実
 - ・縦割り班活動の充実
 - ・学級や児童会等で、自分たちで決めて、実践する取組の充実
 - ・あいさつ運動の継続
- 道徳教育を充実させます。
 - ・子どもたちが、自分事として考え、話し合う道徳授業の実践
 - ・人権教育の推進
- Q1調査の結果を職員で共有し、集団づくりや子どもたち一人一人への指導に活かします。

子どもたちが取り組むこと

- 様々な活動について、自分たちで考え、話し合っ決めて、実行します。
- 友達のよいところや頑張っているところを賞賛します。
- 縦割り班活動で協力し合います。
- 学校内外で進んであいさつします。

体：心と体の健康のために自分をコントロールできる子

<体力>

- ★ 「運動が好きだ」と回答する。【児童アンケート】A:全児童の80%以上
- ★ 体育的活動において、「めあてをもって進んで運動に取り組んだ」と回答する。【児童アンケート】A:全児童の80%以上

学校が取り組むこと

- 一人一人が具体的なめあてを立て、自己評価できるように、めあてカードを活用します。
- 体育授業では、個々の課題に応じて、課題を選択できる工夫をします。

子どもたちが取り組むこと

- 自分のめあてを立て、達成に向けて取り組みます。

<健康>

- ★ 「八海健康 Week」等の親子で決めたメディアルールの達成率がA:70%以上
- ★ 「学校は望ましい生活習慣を身に付けるための指導を適切に行っている」と回答する。【保護者アンケート】A:70%以上

学校が取り組むこと

- 児童・保護者対象にしたメディア利用や基本的な生活習慣に関する啓発を複数回実施します。
- 「八海健康 Week」のめあてが達成できるよう事前指導や期間中の声掛けを工夫します。

子どもたちが取り組むこと

- 保護者と話し合い、家庭でのメディア使用のルールを決めて、実践します。

ふるさと：五十沢のよさを感じ、愛着と誇りをもつ子

- ★ 「ふるさと五十沢や南魚沼市についての学習が好き」と回答する。【児童アンケート】A:80%以上
- ★ 「ふるさと五十沢に関わる活動を子どもが楽しんでいる」と回答する。【保護者アンケート】A:80%以上

学校が取り組むこと

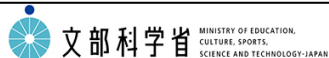
- 総合や生活の授業で、地域の人・もの・ことを活用した活動を行います。
- 学年に応じて、調べたり体験したりしたことを基に、五十沢や南魚沼のよさ・課題について考える取り組みを行います。
- 授業や校外学習での学習ボランティアを地域人材の協力を得るために、フラットルームと連携します。
- 地域の達人を講師とした活動を行います。

子どもたちが取り組むこと

- 五十沢地域や南魚沼市のことについて理解を深める活動や考える活動に取り組めます。
- 地域の人・もの・ことと関わりながら活動したり、分かったことや自分の考えをまとめて、発信したりします。
- 総合的な学習の時間では、4年間を見通し、以下のように取り組みます。
 - ・つかむ場（意識の共有）
 - ・やってみる場（体験活動）
 - ・問いを生む場（振り返り）
 - ・問いを解決する場（調査活動）
 - ・まとめ、発信する場

温かく親和的な学級づくり

- WEBQ1を活用した児童の実態把握、一人一人の教育的ニーズに応じた指導
- インクルーシブを基盤に据えた授業づくり
- 学校生活におけるルール・マナーの徹底
- 自分も相手も大切に、多様性を受け入れ、支え合う心の育成
- 児童主体の話合い活動で互いに思いやり、認め合える特別活動
- などの



学習指導要領

確かな学力
基礎的な知識・技能を習得し、それらを活用して、自ら考え、判断し、表現することにより、様々な問題に積極的に対応し、解決する力

生きる力

豊かな人間性
自らを律し、他人とともに協調し、他人を思いやる心や感動する心などの豊かな人間性

学校教育の重点

地域の特色を生かし、
地域とともに歩む学校づくり

ふるさとを愛し、誇りを胸に、夢や希望を持って、精進強く挑戦し、未来を切り拓いていく、たくましくいきなす

<重点事項>

- 1 児童生徒が主役の授業をととした
確かな学力の育成
- 2 いじめをしない、許さない、
命を大切にする意識の醸成

<各種連携>

【家庭やPTAとの連携】

- ・ 三役と連携し今後を見据えた学年・専門委員会の取組
- ・ 地域とともに子どもを育成する視点をもったコミュニティ・スクールへの参画

【地域との連携】

- ・ 登校時の子ども見守りとあいさつ運動
- ・ 地域コーディネーター活用による各種ボランティア
- ・ 学校運営協議会による熟議と評価
- ・ 地域や学校の課題解決をともにめざす共同体
- ・ 育成会、地域づくり協議会、民生児童委員による取組
- ・ 後援会による支援

【行政機関、幼保小中の連携】

- ・ 市教委、子ども家庭サポートセンター等との連携
- ・ 幼保小での「架け橋プログラム」の取組



南魚沼市後期教育基本計画

- 1 安全・安心で、活気に満ちた学校づくり
- 2 意欲を高め、確かな学力を育成する教育の推進
- 3 健やかな身体を育成する環境の整備
- 4 夢、未来、希望を育む教育の推進
- 5 共生社会の礎を築く特別支援教育の推進
- 6 生きる力の基礎を培う幼児教育の充実